

# 本覚寺々報

第35号  
一発行日一  
令和6年2月5日



## ごあいさつ

住職 波多野 真公

ようやくコロナ渦もあけ、以前の  
ような生活に戻りつつある元旦に  
大変な地震が起きてしまいました。  
能登半島地震で被災され、大切な方  
を亡くされた皆様には、心からお悔  
やみ申し上げます。

お釈迦さまは、私たちの人生は  
「一切皆苦」と仰いました。「人生  
は思い通りにはならない」というこ  
とです。現在では、世界中に理不尽  
な暴力が渦巻き、また今回のような  
思いもよらない自然の猛威によっ  
て、多くの命が失われ傷つけられて  
ゆくこの時代です。それでも、なか  
なか受け止められるものではないま  
せんが、その思い通りにならない苦  
しみや悲しみは私をお育てくださる  
尊いご縁としていただいでいきまし

よう。普段私の口から出るのは愚痴  
や不平不満ばかりではありませんが、  
お互いありがとうございますと感  
謝し、「南無阿弥陀仏」と、お念仏  
をよりどころに一日一日を過ごさ  
せていただきますよう。

浄土真宗本願寺派 たすけあい運動募金  
「令和6年能登半島地震 災害義援金」

郵便振替 01000-4-69957  
加入者名 たすけあい募金  
銀行 ゆうちょ銀行  
店名 一〇九(イチゼロキュウ)店  
番号 当座 0069957  
名義 たすけあい募金  
○ご協力をよろしく願います。

## 親鸞聖人御誕生八五十年 立教開宗八百年慶讃法要参拝

四月十二日、本覚寺を含む福井  
教区総勢四十二名の皆様と参拝さ  
せて頂きました。この慶讃法要は親  
鸞聖人がお生まれになられてから  
八五十年、浄土真宗が開かれてから  
八百年の節目で大変厳かな法要と  
なりました。御影堂は全国各地から  
集まったご門徒方

で賑わい、この法縁  
を慶びました。その  
後、京都国立博物  
館で開催された「親  
鸞―生涯と名宝―  
を見学。しばらくあ  
ちこちを見て回っ  
ていると、「こんな  
にたくさんの書物  
や絵像が残ってい  
ることはありがた  
い。けれど何百年も  
の間ナマングブ、ナ



親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年慶讃法要 参拝記念

マングブとお念仏が続いてきた事  
が一番ありがたい」との声。確か  
にその通りだと思えました。お念仏  
がずっと続いてこなければ、博物館  
で展示された宝物の数々を拝見す  
ることも、こうして皆様と一緒に  
参りさせて頂くご縁も生まれること  
はなかったからです。

次回の慶讃法要は五十年後にな  
るわけですが、今後五十年で私達を  
取り巻く環境がどの様に変わって  
いくのかは分かり  
ません。しかし「南  
無阿弥陀仏」のお  
念仏は今日に至る  
まで、様々な苦難  
を乗り越え八百年  
もの間受け継がれ  
てきたのです。ど  
れだけ時が流れて  
も、お念仏のご縁  
が続いてゆけば良  
いなと願わずには  
いられません。

(園倉)

## 仏婦コーラス音御堂

十一月二十三日、西本願寺にて

『仏様を讃える大合唱』本願寺音御堂二〇二三』が執り行われました。

本覚寺からは「コーラかれん」として十二名、全国各地から三五七名

(四十団体)が参加しました。二〇

二二年に企画されていたこの法要は、新型コロナウイルスの影響もあり、オンライン上での開催で留まりましたが、今年はどうして御本山で

生の歌声、生の演奏で開催することができたことは喜ばしいかぎりです。

歌われた楽曲は、「ひそかにおもんみれば」一、「本願力のめぐみゆえ」三、「みんな花になれ」四、「しんらんさま」五、「念仏者は無礙の一道なり」六、「慶ばしいかな」以上六曲が歌われました。そして

「みんな花になれ」では、コーラスの方々と共に参加者全員で歌い一段と賑やかな合唱になりました。

歌のほとんどは、親鸞聖人について、または浄土真宗のみ教えに沿っ

て作詞されています。ですから合唱を聴いているうちに、今の歌詞はどこから引用しているのか、どんな思

いが込められているのかと想像を膨らませながら聴かせていただきました。

聴く側だけでなく、歌う人、楽器を奏でる人、参加された全員が同じ気持ちでこの法要を楽しんでお

られたように思います。阿弥陀様の願いや親鸞聖人の思いが、馴染みやすい楽曲になってお御堂に響き渡った素敵な一日になりました。



て作詞されています。ですから合唱を聴いているうちに、今の歌詞はどこから引用しているのか、どんな思いが込められているのかと想像を膨らませながら聴かせていただきました。聴く側だけでなく、歌う人、楽器を奏でる人、参加された全員が同じ気持ちでこの法要を楽しんでおられたように思います。阿弥陀様の願いや親鸞聖人の思いが、馴染みやすい楽曲になってお御堂に響き渡った素敵な一日になりました。

(園倉)

## 永代経・報恩講従来通りにお斎・蕎麦会も再開

本年度より永代経、報恩講の日

程を従来通りに戻して、ご法中のご案内やお斎も再開しました。お付き

合いのある寺院も少しずつ元に戻しつつあるようです。それでもまだ

まだ油断はせず、今後も消毒・手洗い・換気を徹底して、法要やお斎等の準備に努めていきます。約三年の

ブランクはありましたが、台所の皆さんもそこは百戦錬磨、テキパキと

お手伝いくださいました。報恩講では御満座(最終日)のみ、百食程の蕎麦を町内有志の方に打っていただき

ました。いつもお世話になつております。

法務員の方

はという、

勤行やご親類

ご法中の接待



など、少しずつ勤を取り戻しながら各々役割を果たしておりました。楽を覚えてしまっていたお晨朝のお勤めは意外と早朝が苦にならず、良いのか悪いのか、歳を取るといふことはこういうことなのでしょう。

## 報恩講廻り(九月中)

### 日程変更のお知らせ

九月の月上旬より始まる福井市内の報恩講廻りですが、昨今は九月と言ってもまだまだ茹だるような暑さです。そこで、もうすでに昨年のお廻りの際にお話しさせていただいたお家もありますが、四〜五月頃に変更したいと思えます。お参りに寄せていただく私たちは良くても、ご門徒の皆さんが辛いのではないかと、このことで提案させていただきました。それでも都合悪ければご連絡くださいますようお願いいたします。





## 初参式

もう初参式の常連さんですね。お孫さんに恵まれて、おばあちゃんも満面の笑み。妹が生まれて、お姉ちゃんも嬉しいね。すくすくと元気に成長されることを念じています。

坂 月陽ちゃん 勝山



## 桜ライトアップと月下美人

お寺の境内の桜をライトアップしています。今年は暖かかったので四月の初めにはもう八分咲きにな

っていたでしょうか。いつも蓮植替えでは、作業を終えてからのお花見バーベキューを楽しんでいます。でもそれだけではもったいないので、数年前からライトアップをして夜桜も楽しめるようになりまして。昼間とはまた違った表情を見せてくれます。余談ですが、この桜の写真は若院さんが撮影したものです。現在大学一年生、カメラが趣味でその腕前はメキメキ上達していて、今は専ら鉄道マニアの所謂撮り鉄だそうです。話が脱線しましたが、是非夜桜を見にいらしてください。



また月下美人の花が咲くのも楽しみの一つです。時期は六月から十月頃までに数回花を咲かせます。夜七時頃からゆっくりと咲き始め、開花の時には良い香りが漂うそうです。撮影も試みるのですが、これがなかなか難しい！タイムラプスという手法で開花する瞬間を撮ろうと奮闘してい

ます。是非とも生でお目にかかりたいものです。まさに月下美人、誰もが見惚れるほど美しくて儂い一夜限りの花ですね、なんてちょっと言い過ぎでしょうか？

## 聖地参拝予定(長野)

あくまで予定なのですが、来る三月十六日の北陸新幹線、金沢〜敦賀間開業に便乗して聖地参拝を計画中です。最後に行ったのは東京で

平成二十八年といえるのですから、もう八年も前になるようです。今回は長野の善光寺参拝を予定しています。信州善光寺は一光三尊阿彌陀如来をご本尊とする約一四〇〇年の歴史を持つ寺院で、親鸞聖人が越後から関東に赴く際に立ち寄ったとされており、本堂正面の華瓶に生けられた一本の松は聖人が参拝された際に奉納されたと伝えられています。聖人のご生涯を綴った御伝鈔にも善光寺の逸話が出てきますね。

そして長野県といえば、なんといっても温泉です。野沢・戸倉上山田・昼神・蓼科・上諏訪など「名湯百選」にもなっている温泉が勢揃いしています。もうどちらがメインなのか分かりません！寺務所には温泉のことに関しては右に出る者はいないというくらい温泉通がいますので、きっと素晴らしい計画が練られた聖地参拝になることでしょう。「牛に引かれて善光寺参り」ではなく、「温泉に惹かれて善光寺参り」ですね。

# 懇親ゴルフコンペ

六月十四日、しばらくコロナ禍で中止していた懇親ゴルフコンペも無事に復活。あいにくの空模様ではありましたが参加者二十三名、盛大に開催されました。最高齢は八十八歳、お元気で然も上手い、プレー中の紳士的な立ち振る舞いは勿論、普段の信心深さまですべてにおいて将来の目標とさせていただきます。

優勝は轟の川治英一氏。本堂での読経の後、表彰式と懇親会。賞品が贈られると会場には大きな拍手が。大の大人たちで繰り広げられる御前とのジャンケン大会は笑わずにはいられない盛り上がりでした。

残念ながら秋のコンペは開催できませんでしたが、本年は春・秋と予定しております、是非とものご参加お待ちしております。

教えや信心とゴルフとの関係について疑問を持たれる方もおられますが、何よりお寺に足を運んでいただく、少しでもお寺に興味を持っていただくために続けさせていたかどうかと思っております。お寺が皆様方の「憩いの場」となれますようにと。

# おてらさんがくぶ

数年前より始まって刈込池や上高地トレッキング、そして昨年は霊峰立山登山。

浄土真宗の教義や教学に関連付けて何とか助成金なるものを引っ張り出そうかとどこぞの政治家みたいなことを考えております。が、どうも関連づけにくい。このままではいけない。、「そうだ、巻き込もう！」てなわけでお寺の副住職の稚さんや若院さんまでも巻き込んでの「おてらさんがくぶ」

昨年八月に登った立山登山では来雨・落陽・雷鳥・満天の星空・雲海・滝雲・御来光とフルセットで楽しめました。特に雄山頂上から見た雲海の広がりから昇る御来光は実に美しく、まるでお浄土の光を思わせる神秘的な空間でした。



紙面では伝えきれないので動画をUPしております。どうぞご視聴ください。

ガムシヤラに頂上を目指すもよし、雄大な且つ壮大な景色を楽しみながら登るもよし、足元のかわいい高山植物に癒されながら登るもよし。色んな楽しみ方を一人一人が見つけながらの「達成感」

登山から何を学んできたか、教義や教学以前に人生の学び。単なる自然の知識ではなく、これから生きていくうえで大切なこと、自分が成長していくために大切なことでもあります。一つ目は計画力。

まず大切なことは登山計画。いつ、誰と、どの山に、どのルートで、どのように登り下山をするか、を考える。最終目標は「無事に下山すること」。「頂上」はあくまで通過点であり、目標にしてはならない。二つ目に実行力。

登山計画に基づいて決めたことを実行に移す。これが実行力。つまり、自分で決めたことをやりきる力。三つめは判断力。

登山中はあらゆる判断に基づいて行動することになります。天候、



ルート、休憩・水分補給・行動食のタイミングなど。登山中の自分の状況を見つめながら適時適切に判断することが大切であります。

最後四つ目は反省力。登頂し、そして無事に下山する。自分がした判断が正しかったか、間違っていたか、自分の思考・行動・判断を振り返って反省することは大切なこと。

山の旅から得られる四つの力、登山だけでなく人が生きていくうえで必ず必要となるもの。ビジネスは勿論、遊びや信心、今日一日の過ごし方など、いろいろなることに達成感を感じるようになるはず。少しずつでも人として成長できますように。

さんがくぶ会員を募集しています、低山トレッキングから本格登山まで体力に合わせて企画いたしますので興味のある方はご連絡お待ちしております。

YouTube動画  
「おてらさんがくぶ」  
立山室堂を歩く



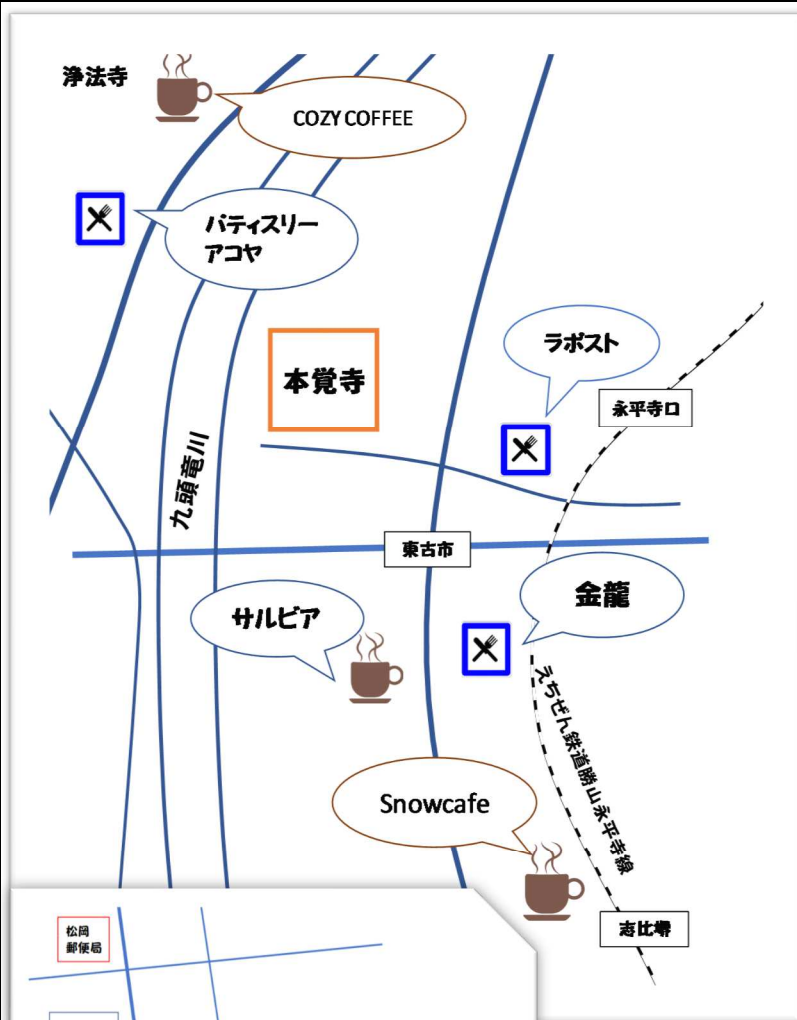


# お寺参りのついでに

お寺にお参りのついでに、また永代経や報恩講で次の法要が始まるまで時間が空くことがありますよね。そんな時はちょっと一息カフェやお洒落なフレンチはいかががでしょうか。

○ラポスト

えちぜん鉄道永平寺口を降りたら



もうすぐそこ。旧郵便局をリノベーションしたカジュアルフレンチレストランです。

○コージーコーヒー

永平寺町コーヒーセレクトショップ、豆販売ベースといえはここ。ガラスケースには自家焙煎されたコーヒー豆がズラリ。

○パティスリーアコヤ

黒龍酒造さんの新施設「ESHIIKOTO」のレストランです。予約制

で、モーニングやランチが楽しめます。\*お支払いは現金不可なのでご注意ください。

○スノーカフェ

元々市内にあったお店が、昨年の秋に志比堺に移転。シフォンケーキ専門の自家焙煎珈琲店です。

○金龍

レストラン金龍は、創業四十年以上のザ・昭和の雰囲気漂う町中華です。

○サルビア

ご門徒さんが経営している、地元で愛された昔ながらの喫茶店です。

○けんぞう蕎麦

松岡のけんぞう蕎麦は、福井県産と北海道産のそば粉をブレンドした打ち立ての十割蕎麦が味わえます。



以上、お寺周辺のお店を少しだけ紹介させていただきました。詳しい営業時間等は皆さんでお調べになってください。

# 僧侶のつづやき

とある音楽家が親戚のご法事でこんなことを感じていたそうです。

「法要の読経や木魚の奏でるリズムが心地よくて好きだ。ついつい職業耳で聞いてしまうのだが、良い声の響きと良いリズム感をお持ちのご住職さんの読経は、心の奥にスッと入ってくる。そして同じお経でも、ご住職さんによったり、場所によったりで今日はテンポが違うとか、キーが違うとか、一度たりとも同じ読経はない気がする。(中略)『南無阿弥陀仏』が繰り返されたり、テンポが少しずつゆっくりになったりすると、まるで指揮者とオーケストラの一人二役だ！このライブ感がたまらない。」

何という説得力だろう。それにしても気になるのは、「良い声の響き」と良いリズム感をお持ちのご住職さんの読経は、心の奥にスッと入ってくる「の部分だ。つまり、そうではない読経は聞くに堪えないと言われているようなものだ！気を付けよう…。」

# 火の用心、線香一本 火事のもと

昨今、お仏壇の火の元が原因で火事が起こるといふ事例が消防署から報告されています。そこで、今回ご門徒さんで消防署にお勤めの方にアドバイスをいただきました。今一度皆さんのご家庭のお仏壇での火の取り扱いについて確認していただきたいと思ひます。

・燭台からの引火  
ろうそくを差す部分のくぼみに水が溜まるといふと溶けてくる蠟を水がはじき、てんぷらの油の様になり飛び散り引火する可能性が有ります。対策としては日頃の掃除の際に水分が付着していないか確認し、拭き取るようにしましう。また、ろうそくの長さにも注意しましう。月忌参りで約十五分、報恩講廻りで約二十五分、ご法事で約四十分、一時間が目安ですが、お仏壇の大きさに応じた長さの物を



選びましう。あまり長すぎると上部の装飾品が焦げたり、最悪の場合引火してしまひます。消し方ですが、芯が長い状態で燃えているろうそくを手や団扇で消そうとすると、火が付いたままの芯を飛ばしてしまひかねません。芯切りやピンセット等で芯を短くし、芯つまみでつまんで消すか、蓋をするタイプのろうそく消しを使うのが確実で安全でしう。

・電気仏具のろうそくや灯籠の断線  
電気仏具の電気コードが断線状態にあると、断線した部分で熱が発生しスパークするなどして、銅線を覆

うビニール被覆が燃えて出火することがあります。対策としては断線箇所を見つけたら、その部位をビニールテープなどの絶縁テープで保護するか、該当する仏具を新しいものと交換するようにしましう。電気仏具のコンセント周りの埃は近年最も多い出火の原因です。コンセント周辺にたまった埃から引火することをトラッキング火災と言ひます。仏具だけでなく日常的に使う家電や配線でも起るので注意が必要です。こまめにコンセント周りを掃除して埃を取り除いておきましう。

以上、いくつか注意点を挙げましたが、私たちが気をつけながら点火・消火・確認のお声がけをさせていただきます。今後も安全に、火の取り扱いには十分注意してお参りくださいますようお願いしましう。

## 総墓建立計画推進 使用者募集

もうすでに何件かお問い合わせをいただいておりますが、総墓の建立と墓地区画増設に伴い、使用者を募集しましう。計画してから数年が経ち、皆様には大変ご迷惑をおかけしております。只今、鋭意工事中です。でもうしばらくお待ちください。総墓使用の詳細は別途ご案内させていただきます。



※写真はイメージです

# 令和六年 年回法要表

一	周忌	令和	五年	歿
三	回忌	令和	四年	歿
七	回忌	平成	三十年	歿
十三	回忌	平成	二十四年	歿
十七	回忌	平成	二十年	歿
※二十三	回忌	平成	十四年	歿
二十五	回忌	平成	十二年	歿
※二十七	回忌	平成	十年	歿
三十三	回忌	平成	四年	歿
五十	回忌	昭和	五十年	歿

※印は地区によってされないところもあります

○令和六年の年回法要表です。

お仏壇の過去帳・御位牌でご確認下さい。年忌申込の際は、

氏名・住所・電話番号

年回の種類・法名

を必ずお知らせ下さい。

御上(御前・稚姫)ご招待、もし

くは法務員のみのおいづれかもお伝えください。

○過去帳・御位牌の法名記入承ります。

○お念珠修理承ります。紐が切れて使えなくなっているお念珠がございましたらお気軽にお申し付けください。

## 寺だより

昨年の寺だよりの末でChatGPTについて触れた。あれから一年。生成AIは我々の知る、知らぬに問わずいつの間にか生活の中に入り込んでいる。昨年秋には生成AIによる手塚漫画「ブラックジャック」の新作が発表された。私は読んでいないがなかなかの出来らしい。

さて、昨年京都国立博物館に「親鸞展」を見に行った。西本願寺で勤修された『親鸞聖人御誕生850年法要』に合わせた特別展だ。その中に国宝『観無量寿経註』『阿弥陀経註』があった。聖人直筆の観経と阿弥陀経のご文と、さらにその余白を覆いつくさんばかりにびっしりと細かい字で註記が書き加えられているものだ。これは以前750回大遠忌の際にも公開があり、その時一緒に行った友人がこれを見て「なあ、親鸞聖人って実際身近にいたら引くと思わへん？かなり強烈な人やで。ご本典かて、あれ全部理屈やねんで？」と言ったものだ。

そうなのだ。我々がご本典と呼ぶ『顕浄土真実教行証文類』というお書物は、聖人が比叡山の学生時代より真実の教えを求めて尋ねまくった経典や論注の中から、念佛往生に係る要文を抜き出し、「○○経にのたまわく」「△△論に曰く」と延々論拠を書き重ね、浄土真宗の教義を体系的に示したものである。今どきの「それってあなたの感想ですよね？」という屁理屈も通らない、がっつり理詰めのお書物なのである。

親鸞聖人がどれほどの真摯に「この私が救われる道」を求められたか、膨大な書物の中からたつたひとつ出遇えた南無阿弥陀仏のお念仏の教えがどれほど嬉しく有り難かったか。これらの書き物を見れば聖人の歓喜のエネルギーが伝わってくる。

新作ブラックジャックも制作にあたり大量の手塚作品をAIに学習させたという。それらの情報を元にAIがいくつかシナリオを提案し、それをプロジェクトチームが修正し、そんなやり取りを何度もしようやく完成に至ったという。実験的意味合いではあるが、新しい手法で手塚作品をよみがえらせようというチームの熱意が伝わってくる。

親鸞聖人も手塚治虫も、今私たちは直に原点を尋ねることができる。AIは今後さらに学習を深めていく。いずれAIが独自の表現を持つ時代が来るかもしれない。もし、涙を流して感動した作品がAIによるものだったら？もし、人生を支えてくれた言葉がAIによるものだったら？その時私はそれらをどう受け止めるのだろうか。



令和6年 本覚寺行事予定

◆修正会	一月一日	流杯の儀
◇御年頭	一月一日・二日	
◆御正忌	一月十五日	
◇門徒大会	二月五日	別途案内
◆仏壯・仏婦合同報恩講	三月中	
◇勝山支坊太子講	三月三十一日	
◆花蓮の会	四月上旬	午前九時より蓮植替え
◇花まつり	検討中	保育園・幼稚園・小学生、参加員
◆聖地参拝予定	検討中	
◇懇親ゴルフコンペ	検討中	
◆降誕会・初参式	六月九日	別途申込
◇勝山支坊永代経	六月三十日	
◆清掃奉仕	永代経前	仏婦
◇掛所盆参り	七月十四日	十八時より読経
◆永代経	七月十五日・十六日	開闢法要
◇納涼法話会	検討中	
◆清掃奉仕	報恩講前	仏婦
◇報恩講	十月四～六日	
◆勝山支坊報恩講	十月二十一日	
◇除夜会	十二月三十一日	二十三時四十五分頃

感謝録

お供え

(敬称略)

菓子 塚谷 徹雄 北四ツ居  
 梨 鹿野 啓信 小塩辻  
 果物 今宮 忠夫 乙坂今北  
 酒 帰山 信勝 猪野口  
 朝田 勇次 春江  
 斎藤 敏昭 舟寄  
 青木 保憲 東古市  
 野澤 雄一 東二ツ屋  
 坪川 良一 東諏訪間  
 宮川 純治 北西保  
 舟木 政美 大和田  
 山内 昭孝 里別所  
 清水 勲 大月  
 与佐岡 賢治 鯖江  
 田中 克治 重立  
 山本 清勝 笹尾  
 斎藤 治一 妙金島  
 前田 清司 阿難祖  
 富田 幸二 上北野

寄贈

ビール 齊川 嘉長 光明寺  
 蠟燭

ご奉仕

蓮植替え 仏教壮年会  
 仏教婦人会

蕎麦会 伊藤 修二 東古市  
 長谷川 範一 東古市

除夜会手伝い

仏教壮年会有志

帳場その他お手伝い

仏教壮年会、仏教婦人会

おみがき

年末 末政御同行

厚く御礼申し上げます。

ありがとうございます。

編集後記

地元の同級生と約二十年ぶりに  
 会いました。彼もお寺の住職となり、  
 宗旨は違いますが同じ仏道を歩ん  
 でいます。それは心強いと同時に身  
 の引き締まる思いがしました。私は  
 住職という立場でありながら、何を  
 してかすか分らない危うい人間で  
 す。また山にでも登って自分を見つ  
 めてみようと思えます。(道場)

ここに第三十五号をお届けします。

皆様方の寺報原稿お待ちしております。  
 写真や絵、俳句などでも結構  
 です。どうぞご投稿下さい。

発行所 浄土真宗本願寺派  
 和田山 本覚寺